



新着案内

早稲田大阪学園・図書館
<http://www.waseda-setsuryo.ed.jp>
 No.86 2018/5/10

「英語多読マラソン」始まりました～
 初めての人、大歓迎です☆
 難しくなく、面白いお話が、沢山ありますよ♪

「週40時間の自由をつくる 超時間術」メンタリスト DaiGo/実務教育出版
 「時間がない」と感じるのは、時間感覚のゆがみが原因。間違った時間感覚を直し、効率よく時間を使いこなせるようになる方法をメンタリスト DaiGoが伝授する。自分の時間を取り戻す8週間プログラムも紹介。

「AI vs.教科書が読めない子どもたち」新井 紀子/東洋経済新報社

「教養としてのプログラミング的思考」草野 俊彦/サイエンス・アイ新書

「読書の価値」森 博嗣/NHK 出版新書

「キレる女懲りない男」黒川 伊保子/ちくま新書
 装置として見立てると、男女の脳は回路のかたちと信号特性が違う。男女脳の違いをつぶさに解きながら、わかりあうための処方箋を示す。男女脳取扱説明書。

「素顔の西郷隆盛」磯田 道史/新潮新書
 今から150年前、この国のかたちを一変させた西郷隆盛。彼は一体何者か？ 西郷の側近くにいた人々の証言等を改めて紐解き、後代の神格化と英雄視を離れて「大西郷」の素顔を活写。その人間像と維新史を浮き彫りにする。

「戦後史の正体」孫崎 享/創元社

「なぜ君は絶望と闘えたのか」門田 隆将/新潮文庫

「原因と結果」の経済学中室 牧子/ダイヤモンド社

「誰も教えてくれなかった実験ノートの書き方」野島 高彦/化学同人
 卒業研究を行うために研究室に配属になった大学生に向けて、実験ノートを上手に利用して研究活動をスムーズに進めていくための考え方を紹介。著者が試してきたさまざまな工夫やアイデアも盛り込む。

「本当は面白い数学の話」岡部 恒治/サイエンス・アイ新書

「ざっくりわかるトポロジー」名倉 真紀/サイエンス・アイ新書

「データ分析の力」伊藤 公一朗/光文社新書

「日本列島100万年史」山崎 晴雄/ブルーバックス

「欧米人とはこんなに違った日本人の「体質」奥田 昌子/ブルーバックス

「毒親」の正体水島 広子/新潮新書
 不適切な育児で子どもに害を与える「毒親」。その被害を防ぐカギは診察室にあった。発達障害、不安定な愛着スタイルなど、臨床例から彼らの抱える4つの精神医学的事情を解説、解決の指針を示す。

「うつ・パニックは「鉄」不足が原因だった」藤川 徳美/光文社新書

「宇宙に命はあるのか」小野 雅裕/SB新書

「イラストレーション / 2018」平泉 康児/翔泳社
 多種多様なポップカルチャーから現代美術、刻々と変化するネットカルチャーまで、世界が注目する日本独自の多彩なイラストシーンを横断した、実力派作家150名による豪華競演。

「配色アイデア手帖」桜井 輝子/SBクリエイティブ
 イメージがふくらむ配色見本集。全127項目のテーマごとに、写真に関連する色の話題やイメージの世界を広げるエッセイと9色のカラーパレットを掲載。応用的なデザイン・パターン・イラストの配色も紹介。

「超筋力が最強のソリューションである」テストステロン/文響社

「としかえばや物語」田辺 聖子/文春文庫
 権大納言家の凛々しい若君・春風と、美しくおやかな姫君・秋月。実はこの異母兄妹、春風は姫君で、秋月は若君。ふたりは正体を隠して宮中デビューするはめに…。奇想天外、痛快平安ラブコメディ！

「ゼロの使い魔 / 22」ヤマグチ /ホル/KADOKAWA

「Re:ゼロから始める異世界生活 / 16」長月 達平/KADOKAWA

「ハーメルンの誘拐魔」中山 七里/角川文庫
 障害を抱える15歳の少女が誘拐された。現場には「ハーメルンの笛吹き男」を描いた絵はがきが残されていた。警視庁捜査一課の犬養は相棒の高千穂と捜査に動くが、第二の誘拐事件が起こり…。

「青空と逃げる」辻村 深月/中央公論新社
 深夜の電話が、母と息子の日常を奪い去った。疑心、恐怖、そして怒り。壊れてしまった家族が、たどり着く場所は…。一家の再生の物語。『読売新聞』連載を単行本化。

「億男」川村 元気/文春文庫
 宝くじで3億円を当てた図書館司書の一男は、「お金と幸せの答え」を求めて、大富豪の親友・九十九のもとを訪ねる。だが直後に九十九とお金が消えた。その行方を追って、一男の冒険が始まる。

「世界から猫が消えたなら」川村 元気/小学館文庫
 郵便配達員として働く三十歳の僕。猫とふたり暮らし。そんな僕がある日突然、脳腫瘍で余命わずかであることを宣告される。絶望的な気分家で家に帰ってくると、自分とまったく同じ姿をした男が待っていて、奇妙な取引を持ちかけてきた…。

「断層の森で見る夢は」藤本 ひとみ/講談社
 南アルプス。600年を超える因習の村で、突如起こった怪事件。ヘリコプターの墜落、白骨の出現…。インターチェンジに消えた数学の天才は何を見たのか？ 迫る集中豪雨の中、少年たちの奔走が始まる。

大人気KZシリーズの深層をえぐる、ディープなKZ'D「KZ' Deep File」。既刊4作。
「いつの日か伝説になる」・「青い真珠は知っている」・「桜坂は罪をかかえる」

「桜のような僕の恋人」宇山 佳佑/集英社文庫
 美容師の美咲と、カメラマンを目指す晴人。恋人として幸せに過ごしていた二人だったが、美咲が、人の何十倍もの早さで年老いる難病を発症してしまう。老婆になっていく姿を晴人にだけは見せたくないと思ふ美咲は…。

「逢魔が時に会いましょう」荻原 浩/集英社文庫
 民俗学者・布目准教授と助手・真矢のコンビが、座敷わらし、河童、天狗など、日本のもののけ探偵に奔走する。笑って泣ける珍道中！

「日曜日たち」吉田 修一/講談社文庫
 ありふれた「日曜日」。だが、5人の若者にとっては、特別な日曜日だった。都会の喧騒と鬱屈した毎日のなかで、疲れながらも、もがきながらも生きていく男女の姿を描いた5つのストーリー。連作短編集。

「本好きの下剋上:司書になるためには手段を選んでいられません」第1部 [1]~[3] 第2部[1]~[4] 第3部[1]~[5] 第4部[1]~[2] 香月美夜/TO
ブックス 本好きな女子大生が事故に遭い、異世界で5歳の女の子として生まれ変わった。その世界では書物はほぼ存在しない。ないなら、作ってしまえ！ 目指すは図書館司書。本に囲まれて生きるため、本を作る！ 【このラノベがすごい！2018 ノベルズ部門一位受賞】

「真実の10メートル手前」米澤 穂信/創元推理文庫
 滑稽な悲劇、あるいはグロテスクな妄執。己の身に痛みを引き受けながら、それらを直視するフリージャーナリスト、太刀洗万智の活動記録。「名を刻む死」「綱渡りの成功例」など、粒揃いの6編を収録。

「最後の医者は雨上がりの空に君を願う 上・下」二宮 敦人/TO文庫
 患者に余命を受け入れる道もあると言い切る医者・桐子。一方、かつての同僚・福原は患者の「延命」を諦めない。そんな2人が、ある難病の恋人同士を前に再会を果たし…。生き方を問い直す、医療小説。

「姑獲鳥の夏」京極 夏彦/講談社文庫
 古本屋にして陰陽師が憑物を落とし事件を解きほぐす人気シリーズ第1弾。東京・雑司ヶ谷の医院に奇怪な噂が流れる。娘は20箇月も身籠ったままで、その夫は密室から失踪したという。文士・関口や探偵・榎木津(えのきづ)らの推理を超え噂は意外な結末へ。

「魍魎の匣」京極 夏彦/講談社文庫
 箱を祀る奇妙な霊能者。箱詰めにされた少女達の四肢。そして巨大な箱型の建物。箱を巡る虚妄が美少女転落事件とバラバラ殺人を結ぶ。探偵・榎木津、文士・関口、刑事・木場らがみな事件に関わり京極堂の元へ。妖怪シリーズ第2弾。

「響け!ユーフォニアム<北宇治高校吹奏楽部のホントの話>」武田 綾乃/宝島社

「木洩れ日に泳ぐ魚(さかな)」恩田 陸/文春文庫
 舞台は、アパートの一室。別々の道を歩むことが決まった男女が最後の夜を徹し語り合う。初夏の風、木々の匂い、大きな柱時計、そしてあの男の後ろ姿…。共有した過去の風景に少しずつ違和感が混じり始める。濃密な心理戦の果て、朝の光とともに訪れる真実とは。

「カラヴァル」ステファニー・ガーバー、西本かおる(訳)/キ/ブックス
 17歳の少女スカーレットは政略結婚させられる直前に、夢のイベント「カラヴァル」の招待状を受け取る。妹テラとカラヴァルへ足を踏みだすが、まもなく妹とはぐれ、妹を救いだすための冒険が始まり…。胸ときめく物語。【2018年本屋大賞翻訳小説部門】

「カフカ短篇集」フランツ・カフカ、池内 紀(編訳)/岩波文庫
 実存主義、ユダヤ教、精神分析…。カフカは様々な視点から論じられてきた。作品そのものに触れると、難解とされるカフカの文学は、想像力が生んだ、読んで楽しい「現代のお伽噺」だとわかる。

「絶望名人カフカの人生論」フランツ・カフカ、頭木 弘樹(編訳)/新潮文庫
 「いちばんうまくできるのは、倒れたままです」誰よりも落ち込み、誰よりも弱音をばき、誰よりも前に進もうとしなかった、ネガティブを代表する作家カフカの絶望の名言集。

「肉体の悪魔」ラディク、中条省平(訳)/光文社古典新訳文庫
 第一次大戦下のフランス。パリの学校に通う15歳の「僕」は、ある日、19歳の美しい人妻マルトと出会う。二人は年齢の差を超えて愛し合い、マルトの新居でともに過ごすようになる。やがてマルトの妊娠が判明したことから、二人の愛は破滅に向かって進んでいく…。